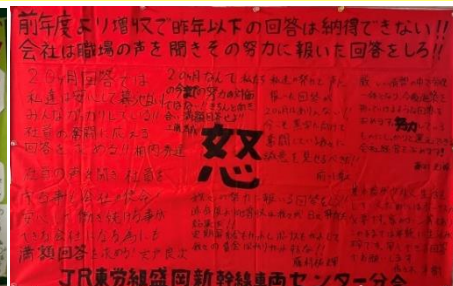
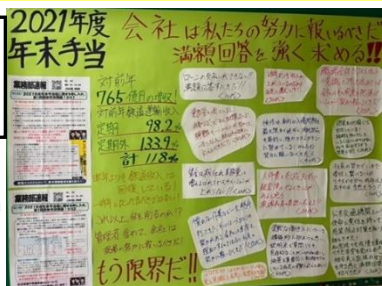


申15号「組合員の現実と声を第一につくり出した  
緊急申入れ交渉」は、1000件以上  
に及ぶ組合員の怒りの声をぶつけるも **対立**

2021年度年末手当等について  
怒りと悔しさの中 **妥結**

基準内賃金の2.0ヶ月分 支給日(予定)12月3日

これが組合  
員の声だ!



本部は11月15日、申15号緊急申入れ交渉を行いました。全12地本から寄せられた声明と、年末手当以降出された1000件を超える組合員・社員の声を交渉で訴え、基準内賃金2.0ヶ月分の回答撤回と、東労組が要求した基準内賃金の2.7ヶ月分プラス5万円の満額回答を求めてきましたが、会社回答を打ち破る事が出来ず、11月16日開催した全地本代表者会議の議論を経て妥結の判断をしました。

本部主催「働く者の現実と声を第一としない経営姿勢に立ち向かうため、  
組合員と共に JR 東労組の強化・拡大に決起する 11・17 集会」開催!



盛岡リモート会議の様子(左)。職場のたたかいを報告する盛岡支部永田書記長(上)。

11月17日には「働く者の現実と声を第一としない経営姿勢に立ち向かうため、組合員と共に JR 東労組の強化・拡大に決起する 11・17 集会」を開催し、リモート参加も含め200名以上が参加しました。本部佐藤委員長からは「職場からのたたかいで、問題は会社姿勢まで及んだ」「組合員のみならず、未加入・ポテまで疑問の声が出されている」「闘わなくては、会社はどんどん賃金カットしてくる。経営姿勢を正し、組織

強化・拡大に繋げよう」など挨拶がされ、発言では18名から会社姿勢に対する不満や怒りの声が出されました。怒り・悔しさをバネに、働く者の現実と声を第一にしない経営姿勢に立ち向かう為に、これまで以上の組織強化・拡大に向けた実践を全組合員で推し進めていく事を確認しました!

**怒り悔しさを共有し、組織強化・拡大を目指そう!**